

袋井市原子力災害広域避難計画（案）について

令和 2 年 1 月 30 日
災 害 対 策 課

1 概要

静岡県御前崎市に立地する浜岡原子力発電所において原子力災害が発生した際に、同県袋井市の住民の避難を受け入れることについて、平成 26 年 2 月から調整を行ってきました。

この度、袋井市が令和 2 年 1 月 22 日（水）の袋井市議会総務委員会にて「袋井市原子力災害広域避難計画（案）」（以下「袋井市避難計画」と記す）を報告したことから、内容や今後の対応等について報告します。

2 袋井市避難計画の内容

浜岡原子力発電所において原子力災害が発生した際、袋井市民は主として自家用車で避難し、放射能に汚染されていないことを静岡県内で確認したうえで、三重県内に設置される避難経路所を経て、避難者受入施設（避難所）に向かいます。

避難経路所および避難先市町は別紙のとおりです。

また、三重県には被害がない場合に避難者の受入を行うことになり、南海トラフ地震等により三重県に被害が生じている場合は、福井県が避難者を受け入れます。

なお、避難先市町の割り振りおよび袋井市原子力災害広域避難計画（以下「袋井市避難計画」と記す）の内容・公表については、本県を通じて袋井市から県内全 29 市町に対して事前に意見照会を行い、県内全 29 市町の承諾が得られています。

3 袋井市避難計画の策定・公表に向けたスケジュール

令和 2 年 1 月 31 日（金）	袋井市議会全員協議会にて袋井市避難計画（案）の報告
2 月 21 日（金）	袋井市防災会議にて袋井市避難計画の審議
3 月上旬	袋井市避難計画の策定・公表

4 三重県内での今後の予定

令和 2 年 3 月 10 日（火）	防災県土整備企業常任委員会にて袋井市避難計画の説明
3 月 25 日（水）	地域防災計画へ反映し、三重県防災会議にて説明
令和 2 年度以降	三重県・県内市町・静岡県・袋井市が連携し、避難受入マニュアルの作成（令和 3 年度に完成予定）

5 避難受入に関して

- (1) 避難受入にあたり三重県内で生じた費用・損害については、基本的には袋井市で負担します（災害救助法、原子力損害の賠償に関する法律が適用されます）。
- (2) 避難にあたり必要となる食料や資機材は、原則、静岡県と袋井市で調達しますが、三重県や市町が既存の備蓄等で支援した場合、袋井市が費用を負担します。
- (3) 県と市町の役割として、県が避難経路所を運営し、市町が避難者受入施設を運営することとしています。

6 浜岡地域原子力災害広域避難に係る避難経由所、避難者受入施設について

(1) 県有施設の提供

- ・ 県有施設を避難経由所及び避難者受入施設として提供。

(2) 運営協力

- ・ 各避難経由所の運営要員及び各避難者受入施設への応援要員として県職員を派遣。

上記(1)(2)については、来年度に作成を開始する避難受入マニュアルの中で検討・整理し、位置付けていきます。

8 別表・別図及び参考資料

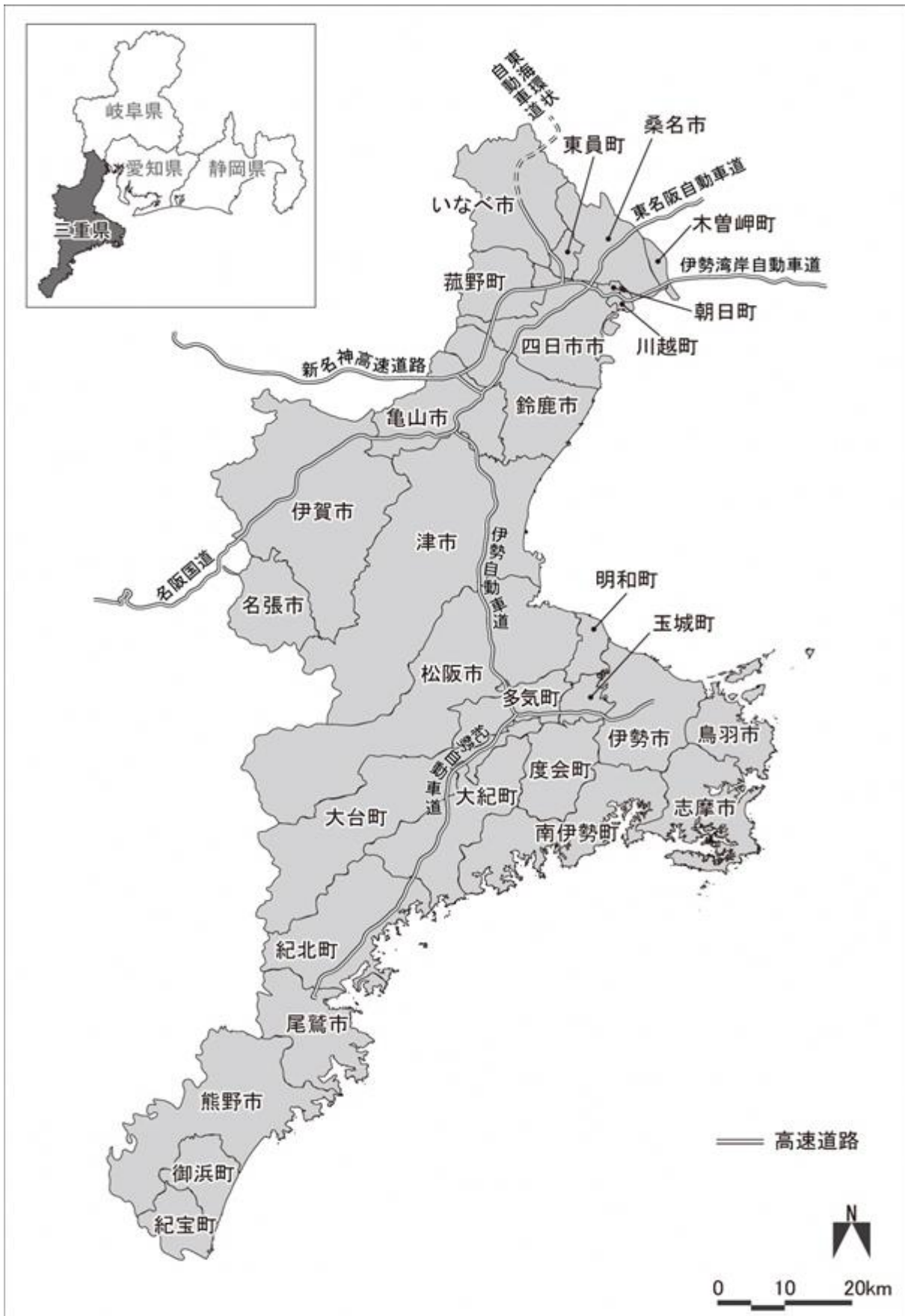
別表 1-1 各自治会連合会の避難先

避難先 1：三重県〔原子力災害が単独で発生した場合〕

自治会 連合会	避難先	避難経由所
浅羽南 笠原	桑名市・木曾岬町	国営木曾三川公園 カルチャービレッジ (輪中ドーム)
浅羽西	いなべ市・東員町	
浅羽東	四日市市・菰野町 朝日町・川越町	三重県広域防災拠点施設 北勢拠点
浅羽北		
豊沢 高南		
愛野 高尾	鈴鹿市	三重県営鈴鹿スポーツガーデン (三重交通G スポーツの杜 鈴鹿)
駅前	亀山市	
川井 方丈	伊賀市	三重県立ゆめドームうえの
袋井 袋井西 田原	名張市	
袋井北 袋井北四町	津市	三重県総合文化センター
今井 袋井東一	松阪市・大台町	松阪市中部台運動公園
袋井東二	多気町・明和町	
上山梨 下山梨	伊勢市	三重県営サンアリーナ
宇刈	志摩市・鳥羽市 玉城町・度会町 大紀町・南伊勢町	
三川	尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町	三重県尾鷲庁舎

※袋井市原子力災害広域避難計画（案）（抄）

避難先 1 三重県（全 29 市町）



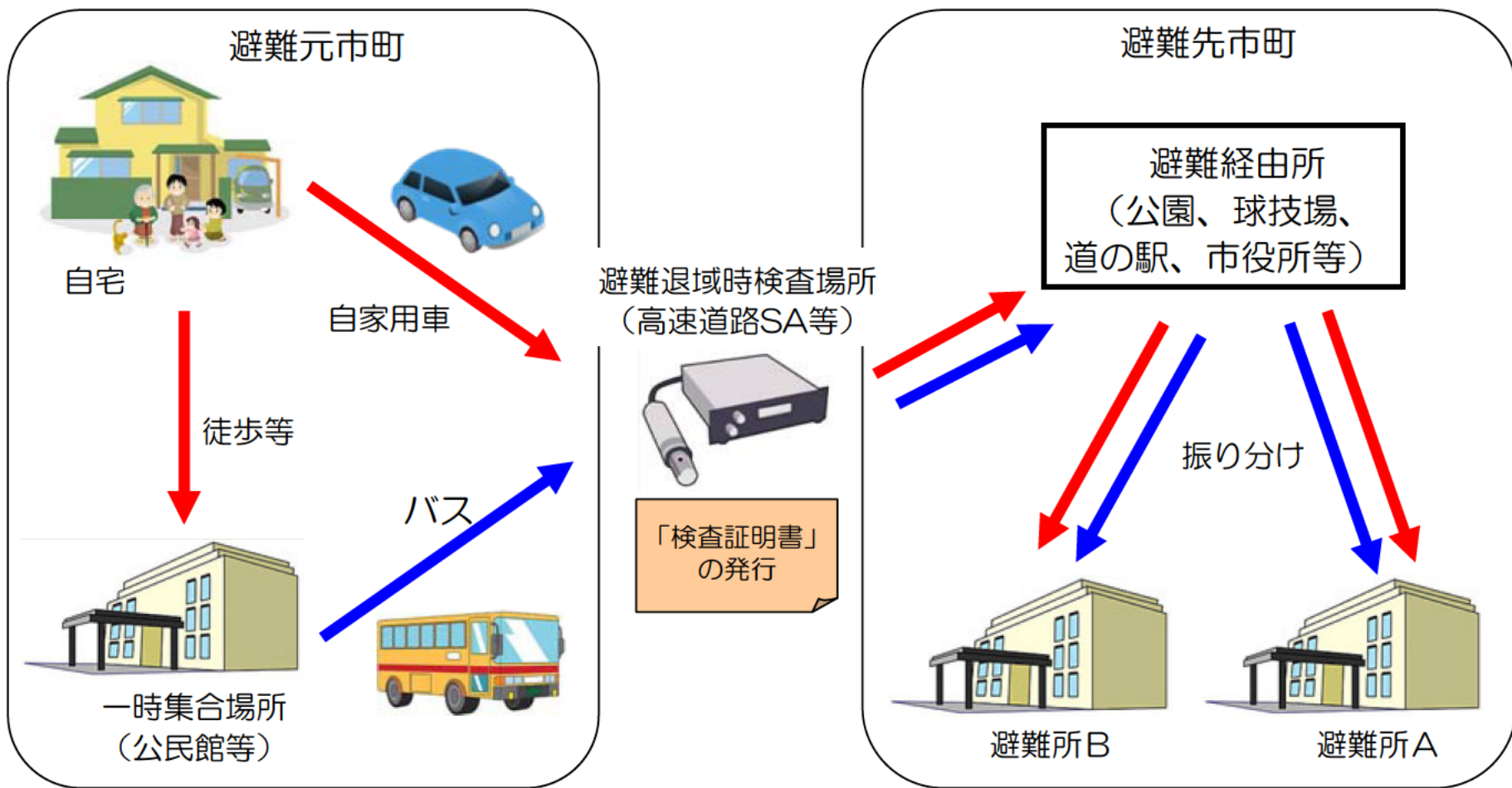
1 広域避難計画の概要

広域避難計画 避難先



1 広域避難計画の概要

避難の流れ



避難手段は、原則、自家用車とし、また、要配慮者や自家用車を持たない世帯等に対応するため、あるいは避難時間短縮等のため、バス等を使用する。